



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第105号
平成29年1月号

『平成29年（2017年）のスタート！』

保護者の皆様、12月19日からの「個人懇談会」（希望者）に参加いただき、ありがとうございました。平成28年も残すところ1週間となりました。この1年を振り返ると、始業式、入園式・入学式、新入生歓迎遠足、運動会、学習発表会などの学校行事を通して、「杭州っ子たち」は豊かな心と思いやりをもちながら大きくたくましく成長してまいりました。



この成長は、河村PTA会長をはじめ役員・保護者の皆様のあたたかいご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。1月14日（土）「PTAもちつき大会」の準備で、年内からPTA役員の皆様が事前打合せや食材注文、消耗品・備品確認のため、本校に来て綿密な計画をたていただき、ありがとうございました。子どもたちは、当日のイベントをとっても楽しみに待っています。



さて、平成29年（2017年）は『酉（とり）年』です。「とり」は「にわとり」を指しますが、にわとりは、「五徳（知・信・仁・勇・厳）」を備えていると言われていいます。

酉年生まれの人の長所は、頭の回転が速くバランスが取れて、洞察力に優れ、細かい所にも良く気が付きます。短所は、負けず嫌いでプライドが高く、やや自分本位になりがちなところと言われています。

来年は、平成17年（2005年酉年）生まれの杭州っ子たちも未来に向かって、空よりも高く、大きく羽ばたいてくれることでしょう。

世界的に有名な歌舞伎俳優「坂東玉三郎さん」のお話ですが、若い頃、舞台に立つと会場から笑い声が巻き起こったそうです。その理由は坂東さんの身長が172cmあり、歌舞伎女形として長身過ぎたことです。その後、舞台の裏で血のにじむような練習を重ね、歯を食いしばりながら低姿勢で踊れるよう努力されたそうです。一流の域まで実力を高めた人は、人一倍の努力を忘れないことだそうです。陰の努力の中でこそ、人間の底力が培われ、毎日の地道な一歩が歌舞伎の舞台で勝利の大輪を咲かせるというお話です。



年末年始をご家族で楽しく過ごされる時、ご家族の「目標」について話し合っただけならば幸いです。お父さんやお母さんの目標から話し始めると、お子様も自ら目標を語り始めることでしょう。昨年の目標と比べてみるのもよいことです。インフルエンザが流行しています。睡眠時間を十分とりながら生活のリズムを整えて健やかな新年をお迎えください。そして、1月5日（木）に元気な笑顔で会いましょう。保護者の皆様、ありがとうございました。

